

Now the God of peace be with you all. 平和の源である神が、あなたがた一同と共におられるように。(聖パウロのローマの信徒への手紙15章33節)



表彰者一覧

Table of award recipients for various events including '二〇一六ウィナー杯ソフトテニス実行委員会会長杯' and 'TBCこども音楽コンクール'.

Table of award recipients for '平成二十八年 東北中学校体育大会' and '二〇一六仙台市水道フェア'.

Table of award recipients for 'ハートネットTV震災を詠む二〇一六' and '第三十八回 競技かるた北日本新人戦'.

Table of award recipients for '第十四回くりこま高原高等学校陸上競技選手権大会' and '第五十二回 宮城県競技かるた団体対抗戦'.

Table of award recipients for '第十八回後継新平・新渡戸稲造記念拓殖大学高校生・留学生作文コンクール' and '平成二十八年 税に関する高校生の作文'.



祝 卒業に寄せる言葉



グローバル・サーバント・リーダー 育成を目指して

中学高等学校校長 青木 タマキ



早春の訪れと共に卒業の時を迎えました。高校三年生百六十名とエンカレッジコース二十八名が、二〇一六年度卒業生として、其々の進路先へと羽ばたいて参ります。また中学三年生九十八名が義務教育を終え、意識も新たに高校生としての夢と希望に胸を膨らませていきます。皆さん、ご卒業、おめでとうございます。保護者の皆様にも心からお祝い申し上げます。お子さんの卒業後も学園をご支援頂きますようお願い申し上げます。

さて、地球社会は年々スモールワールド化し、世界の出来事が瞬時に知り得る環境にあります。もはや日本だけで資源・エネルギー、メディア、政治経済など解決できるものではなく、いずれも地球規模的な発想と行動無しには安心安全な生活が出来なくなっています。二〇一七年一月のアメリカ新大統領

卒業を迎えて

卒業生の言葉

卒業を迎えて

高校三年生 武田 悠



真新しい小さなセーラー服に身を包み、幼稚園生として仙台白百合学園の門をくぐり十四年が経ち、今となっては走馬灯のように思い出が蘇ります。小学校の卒業式を目前に控えた三月十一日に発生した東日本大震災。これにより小学校の卒業式・中学の入学式は延期され、どちらもロザリオのマリア聖堂で行われたことは今でも鮮明に記憶されています。私たち卒業生は、学校に通うことや普通だと思っていたことが、当たり前なことではなくなりました。私には、挑戦することは成長することだと信じ、この学園の生徒として学校

放送朝礼でも朗読されていた聖句「神は、あなたがたを耐えられないような試練に合わせることはなさらず…」とあります。この言葉を胸に、怯まず、正々堂々と前を向いて、素晴らしい人生を築き上げてください。

教職員から

困難の中に機会がある

高校三年学年主任 高橋 行男

高校三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。この三年間を振り返って「どうでしたか」と尋ねられたら皆さんはどう答えますか。楽しいことも辛かったことも両方あるのに、「楽しかった」と答える人も多いのではないのでしょうか。それは、辛かった時にそれを乗り越えるために努力し、その辛さに勝つことが出来たからだと思います。これまで授業や諸活動、諸行事を含む学校生活全般を通して、文科省の言う「生きる力」を体得できた証拠です。高校生活で培った様々なノウハウを活かして、これから始まる新しい生活にチャレンジしてください。

タイトルに付けた「困難の中に機会がある」という言葉は、アインシュタインのもですが、まさにこれから高校を巣立つ皆さんに贈る言葉として相応しいと考えました。これから、数多くの困難に出くわすと思いますが、その困難の中に成功するための様々なヒントが隠されているのです。逃げずに真っ向から立ち向かい、乗り越えてください。恐らく、困難のハードルが高ければ高いほど、また数が多いほど乗り越えた時の喜びは大きく、生きていくための強力な武器になるはずです。

定年を迎えて

佐々木 信子

私は、大学を卒業した一九七九年から、仙台白百合学園視聴覚室で仕事をしています。文字にすれば、三十七年間ということになりますが、あつという間に過ぎ去ったという感じがします。その間、私にとって忘れられない一番の出来事は、一九八四年にマザー・テレサが仙台においでになった時のことです。私はビデオ撮影のお手伝いで、仙台空港にマザーをお迎えして、その後、刻みのスケジュールに同行し、次の日、仙台空港でお見送りをしました。その時とっていただいた写真は、私の宝物です。マザーは、あのような偉大なことをされているエネルギーはどこから来るのだろうかと思っほど、物静かな方でした。ずっと隣に座っていたように感じる癒しを感じました。

放送朝礼でも朗読されていた聖句「神は、あなたがたを耐えられないような試練に合わせることはなさらず…」とあります。この言葉を胸に、怯まず、正々堂々と前を向いて、素晴らしい人生を築き上げてください。

私自身は、白百合学園の卒業生ではありませんが、長い間この学園に関わらせていただき、「従順・勤勉・愛徳」の意味を少しずつ理解し、そして体感しているように思います。

大きなはからいの中で、この白百合学園に導かれ、今日を迎えられたことを心から感謝いたします。



1984年11月 仙台空港に到着のマザー・テレサをお出迎え

献金ありがとうございました。

献金ありがとうございました。平成28年12月17日「学園クリスマスミサ(幼・小・中・高)」に寄せられた献金37,704円はフィリピンの恵まれない人々の為に寄付されました。

日本・バチカン国交75周年記念公演

バチカンより日本へ祈りのコンサート日本公演2017

～東日本大震災の鎮魂と復興祈念コンサート～



〈仙台公演日程〉

第一部 東日本大震災鎮魂と復興ミサ

時間：2017年3月24日(金) 13:30~14:30 (予定)
場所：仙台白百合学園ロザリオのマリア聖堂
フランチェスコ・モンテレーズ枢機卿(聖パオロ大聖堂名誉大司教)
ジョセフ・チェノット大司教日本バチカン大使
平賀徹夫(カトリック仙台司教区司教)

第二部 バチカンより日本へ祈りのコンサート仙台公演2017

時間：2017年3月24日(金) 15:00 開場 15:30 開演
場所：仙台白百合学園レジナパーチスホール

全席自由
入場無料

- 出演者
- ◆ ロッシーニ歌劇場管弦楽団
 - ◆ 榛葉昌寛(テノール)
 - ◆ 菅原明音(ヴァイオリン)
- 仙台白百合学園 高校2年

バス時刻(片道300円) 泉中央駅発学園行 12:00、12:30/13:00/14:00、14:30/15:00 | 学園発泉中央駅行 17:30、17:45

お問合せ：～東日本大震災の鎮魂と復興祈念コンサート～ バチカンより日本へ祈りのコンサート仙台公演 2017 推進室(仙台白百合学園内)

保護者から

輝く娘たちへ

卒業生保護者 千葉 マキ

つららかな巣立ちの春を迎えました。仙台白百合学園の学びを受け、娘達は今、それぞれの道に進む

内外で様々なことに積極的に挑戦してきました。特に高校三年間を振り返ると、生徒会長や県総文祭の実行委員長を務める中で、悩んだこと辛かったこと楽しかったことたくさんありました。多くの経験を通して視野が広がり、それが自分の進路にも繋がりました。折りの精神息づくこの学園で、素晴らしい仲間、先生とともに生活できたことは、今の私にとっても、これからの私にとっても、大きな糧となることと思います。これからの人生、仙台白百合学園で学んだ、思いやりの心、感謝の心、奉仕の心といった人として大切なことを心に留め、社会貢献の出来る女性として未来を歩んでいきたいと思っています。

ときがきました。我が娘は中学三年の十一月のある日、突然、白百合学園専願で行きたいという話を私にした時、目を大きく開き、自分の目標がはっきり見えた瞬間だったと思います。親元を離れ、見知らぬところで生活に娘はもろろん、私たちも不安や寂しさはありましたが、学園の校長先生をはじめ、先生方、それから紫苑寮の舎監さま方、先輩方にあたたかく迎えていただき、新たな学校生活をスタートしたあの頃がなつかしく思い出されます。会う日ごとに成長をみせ、同じ志を持ったお友達と日々共に過ごし、娘をお励ましくださったことは何よりも大きな力になったことと思います。部活動でも汗を流し、整った環境の中で、高校生活でしか味わえない貴重な日々を過ごさせてください。心にと感謝申し上げます。また、進路決定に向けて、先生方に親身にご指導いただきました。この御恩は忘れることはありません。

学園は卒業しますが、これからは後輩の方々のために道すじを示すべく、それぞれ進む社会で、向上心、向学心に一層磨きをかけ、前に進んでほしいと願うと共に、これからも学園とのつながりを大切にしていってほしいと思っております。仙台白百合学園の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。 深謝



幼稚園

- Q1 幼稚園の忘れられない思い出
- Q2 ちいさいお友達に贈る言葉

インタビュー

年長児に



①ちいさいころ、ホワイエであおパッチのおにいさんとあそんだこと。
②いつもほくのことをだいてきいてくれてありがたう。
(ひさち まま(ま))

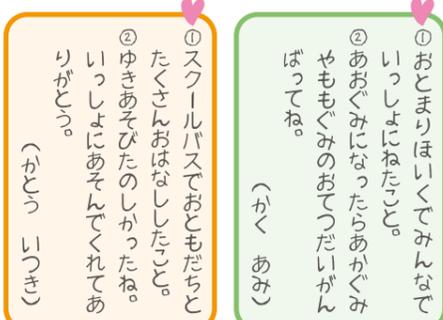
①サッカーたいかいのとき、キャプテンになってがんばれたし、たのしかった。
②いつもあそんでくれてありがたう。となりについてくれて、なにかよくなってうれしかったよ。
(にへい ゆうと)



①せんせいからおしえてもらったおりが、たのしかった。
②いつもかみさまは、まもってくれてるよ。みんながんばってね。
(うちだ さか)

①ようちえんではじめてもだちができてホワイエでもいっしょにあそんだこと。
②いっしょけんめいおしごとしてね。ほくもおうえんしているからね。
(いとう れん)

①ほいくさんかんのとき、おかあさんといっしょに、きゅうしよきたべたこと。
②おともだちいっしょにつくってね。みんなのこと、だいすきだよ。
(あへ みか)



①おとまりはいくでみんなでいっしょにねたこと。
②あおぐみになったらあかぐみやももぐみのおてつだいがんばってね。
(かく あみ)



①ようちえんのみんなとずーっといたのしかった。
②えいごやサッカーがんばってね。いままでありがたう。
(いま まな)

①せいげきでひつじかいのやくをやったこと。
②あおぐみになったらやさしくおしえてあげてね。
(ことう ひかる)



①クリスマスせいげきでマリアさまのやくができたことがわすれられないです。
②たくさんあそんでたくさんおいのりしてたくさんたべておきくなつてね。
(ことう ゆまな)



①おともだちとバスですわってまいにちがたのしかった。
②いっしょにいてうれしかったね。きらいなものがあつてもがんばってたべてね。
(もす さしや)

①おとまりはいくでプールきょうしつにいったのしかった。
②あかぐみさんともかわいかったよ。これからもがんばってね。
(たんの わか)

①おしごとではおもしろいことがいっぱいあります。
②まいにちバスにいっしょにのってたのしかったね。げんきてね。
(たかはし すみれ)

①まいにちいっしょけんめいなわとびのれんしゅうをしたこと。
②おにかいていっしょにあそんだね。うんどうかいのときもがんばってね。
(かなもり みなみ)

①ホワイエであたらしいおともだちができたこと。
②わたしたちのことをわすれないでくださいね。
(すずき ゆき)

①リレーでまけてくやしかったけど、うんどうかいはとてもたのしいおもしろいです。
②サッカーたいかい、ゆうしようめざしてがんばってね。みんなのことわすれないよ。
(すがわら ゆな)

①ようちえんのせいかつすべたがわすれられないです。
②かっこいいおにいさん、おねえさんになってね。まおもがんぼろよ。
(やいし まお)



今後の行事予定

- 4月22日(土)..... 園庭開放
- 5月13日(土)..... 園庭開放
- 6月3日(土)..... 園庭開放
- 6月14日(水)..... 保育見学会
- 7月8日(土)..... 園庭開放
- 9月3日(日)..... 学園祭
- 9月30日(土)..... 運動会

● 10月7日(土)..... 入園説明会
● 10月11日(水)..... 入園説明会
● 10月14日(土)..... 園庭開放

※変更の可能性もありますので事前に
お問い合わせください。

● 事前にお電話かメールでお申し込みください。
皆様のご参加をお待ちしています。
TEL022-777-6777 office3@sses.jp

ロンちゃんBlogもご覧ください。
http://kd.sendaishirayuri.net/



おもしろいね!!

2歳児クラスのお知らせ

平成29年度から毎週1回行います。
水曜日の9時30分から10時30分、未就園児のお子様を対象に行います。おしごとや製作活動、親子で体を動かしたりと、楽しさ満載です。先生や、お友達と一緒にワクワクする時間を過ごしてみませんか!! 詳しくは幼稚園に直接お問い合わせ下さい。



おしごと紹介

その15 鉄製はめこみ

「このかたちしってるー!」
「かいてみたいなあ。」鉄製の様々な形でできたこのおしごとは、子どもの意欲や図形への興味を引き出します。

「こんなかたちができるよー!」形を書く喜びを味わうと、繰り返す中で今度は形を組み合わせる楽しさや、色使いを考える面白さを感じていきます。大きい紙や長い紙に書いたりして、連続した模様や複雑なデザインを生み出すなど想像力も使いながら楽しく作業をしています。

最初は枠を使って一筆で形を書きます。はじめ弱い筆圧で書いていたのが段々としっかりとした力強いタッチの線になっていきます。手首が柔軟になり、物を握る指の強さもバランスがとれていくのです。

枠を使って、一筆で!!

どんな模様ができるかな!?

小学校

Elementary School

特別な意味〜神様の導きの中で〜

小学校校長 渡辺 瑞穂



六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。何より今、皆さんには、自分自身を誇りに思い、そして、皆さんを支えてくれた、すべての人への感謝をもって巣立ちの日の喜びを感じてほしいです。

思い返せば六年前、あなた達の小学校生活の始まりのかたちは、特別でした。入学の1か月前、あの大震災がありました。当時まだ小さかったあなた達も、困難に立ち向かう家族の一人として、精一杯の毎日を過ごしたはずで。

宮城、福島、岩手の各県の小学校が始業式を遅らせざるを得ない中で、本校は四月七日に始業式を迎えることができました。その日に発行した「響き一五二号」に、私はこう書いて

「響き一五二号」に、私はこう書いて

の輪になって、神様の導きの中で迎えるに相応しい雰囲気があることにありました。式の後、青空のもとで行われた記念撮影…。階段に並び、あなた達の笑顔が、どれだけの癒しとなったか。

五十一回卒業生だけが経験した、長く語られ記憶に残る一日です。

入学後もあなた達は、二学期まで校庭にも出られず、運動会は十月に延期、音楽発表会も縮小版で二月に実施しましたね。そして、五年生の宿泊合宿は、蔵王火山警報レベル上昇で花巻・盛岡に行きました。そして最終学年である今年度は、姉妹校がある熊本での地震のニュースと共に始まりました。

どの卒業生にも、学校という場でのドラマがあります。そうした中でも、今年度卒業生の六年間に、神様は特別な意味を与えたと感じます。

小学校の大きな節目であった五十年記念を共に祝ったことも含め、この六年間で白百合生として歩んだ日々を、大事に思い返してほしいと思います。

誰かのために、そして自分自身のため、手を合わせ続けた日常。そこに根差した奉仕の心。これから先の長い人生の歩みの中で、繰り返しあなた達の日常の「導(しるべ)」となる学びがあったことを…。

「祈り」の強さと、神様の導きを信じる人でありませう。

卒業の一句

六年桜組

笑い合う	友とのきずな	教室に	熱海	由伊
白百合で	祈りの気持ち	学ぶ日々	阿部	由奈
ランドセル	私の背中と	反比例	石田	綾香
友達の	笑顔の力	刻む日々	石山	里音
卒業は	終わりでではなく	始まりだ	岩原	陽向
ありがとう	語り尽くせぬ	思い出よ	金子	瑠愛
朝礼で	心を合わせ	祈る日々	菊地玲那伽	
雪降る日	友と作った	雪だるま	小池	希菜
光差す	時計が卒業	知らせてる	小竹	真奈
テスト中	時計と水槽	演奏会	佐々木桜音	
思い出を	胸の白百合	刻んでいる	佐々木莉奈	
プランコで	思い出はなし	親友と	佐藤	紫夕
授業中	みんなの声	はずんでる	佐藤	光紗
白百合の	花を心に	みにつけて	篠崎	こころ
ハードルは	心を強く	変えたもの	柴田	明枝
聖堂に	いつ来て見ても	静かなり	下山	楓
手をつなぎ	思い出のあと	つけていく	鈴木	愛
クラス替え	かつての親友	隣部屋	鈴木	南美
卒業式	母のひとみに	なみだあり	曾我	穂乃
輪をつくり	みな火を囲み	歌うたう	千田	虹美
何度でも	立ち上がって	進む日々	沼田	京伽
ありがとう	先生方と	家族たち	野末	茉希
「走らない」	光のろうか	ひびく声	村山	叶恋
母からの	愛の気持ち	あみこみへ	山本	柚奈

六年菊組

聖堂で	お祈りする日	いつまでも	青山歩乃歌	
背を向けて	校舎にさよなら	告げていく	阿保りりあ	
六年の	タイムアップは	すぐそこに	市川	涼
いつまでも	家族のぬくもり	思う日々	伊藤	舞子
春風の	集合写真	ほほえんで	小形	愛美
こだまする	オルガンの音が	聖堂に	尾中	麗奈
いつだって	私を支えた	母の笑い	菊地	真和
抱き合った	あの子はどうして	いるのかな	坂本	彩雲
体育館	夢の時間が	待っている	佐藤真由子	
すぐそこに	新たな扉	待っている	佐藤	心咲
ふり返り	そと手をふる	ありがとう	島崎友貴乃	
鐘がなる	心に刻み	去って行く	島田	こころ
桜咲く	きらりと光る	みんなの目	庄司	亜胡
バスのなか	窓に描いた	あいうえお	曾根美夕奈	
入学式	笑顔の花が	満開だ	高橋	美海
思い出す	にこりと笑う	みんなの顔	高橋	侑希
思い出に	ハンドベルの音	ひびいている	沼田	結衣
なつかしき	共に学んだ	仲間たち	松原まどか	
旅立つ日	みんなで笑い	涙する	道又	碧海
楽しさが	飛んでくような	静かな日	村崎はるか	
離れても	心の絆	永遠に	森本	美羽
スキップで	毎日かわす	こあいさつ	山田	麗
誕生日	ふうせん届く	うれしさを	山田	夏帆
友達と	聖歌を歌う	六年間	渡辺あゆみ	

6年間の思い出



1年 聖堂での入学式



2年 運動会 子すずめ踊り



3年 遠足 仙台市天文台



4年 加美町ふるさと体験合宿



5年 花巻・遠野合宿



6年 修学旅行

街頭募金

十二月三日、冷たい風が吹きすさぶ中、街頭募金がおこなわれました。ホープ(奉仕委員会)の児童が中心となり、仙台駅近くの水晶堂前、フォーラス前、三越前、そして紫山タピオ内の四ヶ所で、声をはりあげ募金を呼びかけました。



一月三十一日、第十一回クラス対抗五色百人一首大会の優勝決定戦が行われました。低学年、中学年、高学年のそれぞれの代表である二年菊組、四年菊組、五年菊組の三クラスによる決定戦です。結果は五年菊組が、二年菊組と四年菊組を僅差でくだし優勝しました。

クラス対抗百人一首大会

朝ぼらけ
有明の月と 見るまでに
吉野の里に
降れる白雪
(坂上是則)

一年生 昔あそび 一月三十一日



あやとり



おはじき



缶ぼっくり



けん玉



「みことばカルタ」の活動を通して、聖句の大切さを学びました。...



みことばカルタ 中山 菜々



「みことば」は「聖句」のことですが、聖句ってそもそもなんだろう？というところから先生に説明して頂きました。...

中学校SPタイム ～総合学習～

中学・高等学校

Junior & Senior High School



穴が開いてしまったクラスメイトもいましたが、楽しく笑顔で過ごすことが出来ました。...

ディベート活動を通して 佐久間 柚希

「野菜の輸入は必要ない？」というテーマで行ったディベートの活動を通して、調べた資料を自分たちの意見につなげる楽しさ、誰かに伝えるにはどのようなことが必要かを工夫すること学びました。...

高校2年 長崎研修旅行 十二月七日～十日

高校2年 八幡 莉里花

私たちは、「平和」というテーマに沿って長崎に研修旅行に行きまして、異国情緒あふれる街を観光したり、浦上天主堂などの教会を訪れたり、原爆資料館を見学したりしました。...

LE(英語・留学)コース 二十九名一年間留学報告 恩返しができる日まで

高校2年 高橋ひとみ

私は、南オーストラリア州のEnglish Schoolに一年間留学して来ました。留学を決意したきっかけは、小学校六年生の時に経験したオーストラリア二週間研修でした。...



苦勞することもありましたが、そのおかげで学ぶものも大きかったです。宗教に対する考え方や国際問題などについて興味をもつようになり、自分の将来の進路が明確になりました。...



「この講演が印象に残りました。人の前に立つときには緊張はしても聴衆の存在を忘れないことが大事とわかりました。資料収集の際にはインターネットや図書館の本を利用し、改めて機器の利便さや図書館の本が一冊一冊準備されていることにありがたみを感じました。...

街頭募金を通して 木村 友美香

今回の街頭募金では、皆頑張った街の方々に募金を呼びかけました。私たちは募金に協力してほしい、という気持ちを含めて呼びかけました。...

保護者の方から

出発する娘の後ろ姿が今でも目に焼き付いて離れません。それは私達にとって今までで一番長い1年の始まりでした。本人にとっても様々な困難があったようですが、時折送られてくるメールで充実した楽しい生活が窺えました。...

高校1年 十七名 留学に向けて出発

二〇一七年の暮開けとともにLEコースの十七名はそれぞれ留学先となるオーストラリア、ニュージーランド、カナダへと出発しました。空港で家族に見送られ、涙ぐみつつも明るく挨拶をして飛び立ちました。...



カナダグループ (2017年1月21日出発)

大きな声で笑顔を大切にしながら自分の気持ちを伝える、ということはとても大切なことなのだと思ひました。そして、今回の活動で寄せられた募金が、世界中で困っている方々の役に立つことが出来るようにとお祈りしました。とてもいい経験になりました。...



大きな声と笑顔で募金活動!!

宮城県高校美術展 優秀賞 「Remember M」 「降臨」

「こだま」六十二号より

短歌部門

會祖母が手を握りしめ笑みもす大きくなったとベッドの上で 中学二年 佐藤 伶

俳句部門

かざす手の上空白し入道雲 中学二年 堀江 悠

詩部門

地図を見る時 世界が小さく感じると 一枚の紙に おさめられた地球は今戦争がどこかでおこっていると感じさせない 静けさを持つ

「学校広報サポーター」の活動報告

「学校広報サポーター」は、中高生の有志37名からなる団体です。グループに分かれ、スクールガイドやポスターなど広報ツールの制作や、学校説明会やオープンスクールの企画等に参加しています。...



▲広告代理店の方々と打ち合わせに奮闘中

学校広報サポーター企画 4/29(土・祝)「紫山ハンドメイドマーケット」

アメリカからの留学生 アメリカからの留学生 こんにちは。リーはんなです。7月から留学生としてアメリカから来ました。...



平成28年度 SGHプログラム活動報告

仙台北百合学園は文部科学省よりSGHの指定を受け2年目となりました。本年度から高校1年生も新たに加わり、本学園の「グローバルサーバントリーダー育成プログラム」の中で、課題解決型の探究活動はより活性化しております。今回は1年生の探究班の様子と2年生の活躍の一部、ご紹介いたします。詳細は本学園HPにも掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

高校2年生の活躍

〈探究テーマ〉 「災害時における外国人への支援体制」



「日本在住の外国人への防災支援」をめざし、東北大学 災害科学国際研究所の先生方のご指導のもと、外国人向け「防災パンフレット」を作成。東北大学と仙台市が主催する「仙台防災枠組講座」へ積極的に参加し、防災関係者や一般市民の声と自分たちのアイデアを盛り込みました。また、外国人対象の地域防災訓練に参加し災害時の意識調査を実行。使い心地調査まで自らが手がけ、仙台北百合オリジナルの「防災パンフレット」が出来上がりました。パンフレットは英語と日本語の2つを用意。災害時に必要な情報はもちろんのこと、「聖句」や「やさしい日本語」も記載されております。2016年12月には仙台FMの「防災番組」に出演。防災環境都市・仙台ニュースレター「えーる」3号の表紙にも掲載されました。彼女たちの探究活動の様子は、多くの方々からご支援をいただき、「防災パンフレット」は今後もさまざまな施設に設置予定となっております。見かけた際にはぜひお手にとご覧ください。

「総理公邸にてプレゼンテーション」

この記事はSGHの班活動からさらに発展した個人の活動になります。



2016年10月、「BEYOND Tomorrow ジャパンリーダーズサミット」に、高校2年の佐藤沙耶さんが参加。大学生や他県から参加した高校生とチームを組み、各業界のリーダーの前でプレゼンテーションを行いました。来場者の投票により沙耶さんのグループがみごと優勝。12月1日、内閣総理大臣公邸での発表に挑みました。

12月1日、総理大臣公邸へ訪問し、安倍昭恵夫人に「若者が輝ける社会の実現」について提言発表を行いました。私達は、人の目を気にせずに意見を発信出来る社会こそ、若者が輝ける社会だと考え、教育現場におけるレスポンスのある目録や先生と生徒で運営するSNSを解決策として提案しました。夫人が一言一言、真剣に耳を傾けて下さり、緊張感の中にもなごやかな雰囲気、失敗することなく思う存分に発表し、さらに貴重なお話を伺うことが出来ました。この経験を機に、色々な事に興味関心を持ち、視野を広げる事で、高校生にしかできない様なアクションを起こしていきたいです。 高校2年 佐藤 沙耶

高校1年生の探究活動紹介

〈探究テーマ〉 「日本古来の食習慣を世界へ」



海外の偏った食習慣に着目し、日本古来の食習慣である「一汁三菜」のすばらしさとメニューを世界に広めることを目標に活動中です。本学園のSGH探究活動は生徒たちが自発的に行動します。彼女たちは、仙台北百合女子大学の健康栄養学科 氏家先生と宮下先生のご指導のもと、「一汁三菜」について学問の見地から深く学びつつ現代人の嗜好に合うさまざまな料理を試作り、栄養価も検証しました。実際にかかる費用・時間・手間を自らの実践で学び、最終的には国内外に向けたパンフレットの作成や食堂メニューによる販売をめざしています。今後の活動として、3月4日の中間報告会の昼食に、ステラマリス(本学園の食堂)でお弁当の販売を予定。現在は先生方アドバイスを基にメニューを考案し、企業と交渉中です。販売は今回初めての試みとなるため慎重に進めています。

〈探究テーマ〉 「カンボジアの負のサイクルを断ち切る」



1月6日、「カンボジアの教育プログラム」について探究活動を行っている班が宮城県国際化協会を訪れ、カンボジア人留学生へインタビュー。詳細は国際化協会のブログと機関紙に掲載される予定です。

カンボジアの現状を知るため、今回私たちはカンボジア人のMさんのお話を聞きました。Mさんは、ホンダのASIMOに感銘を受けて日本へ留学。カンボジアは地位格差の大きい国で、農村部の学校は英語教育の弱さが目立ち、教育不足や設備の無さには悩まされているとのこと。Mさんは、創造につながる思考力や正しい倫理観に基づく判断力を育成する教育は、人間が成長していく過程で欠かしてはならないもので、だからこそ国や政府が教育を優先させて欲しいと願っています。今回のインタビューにより、考察の視点を増やし、更に探究を深めたいと思います。 高校1年 早坂 桃花

表彰者一覧

おめでとう

昨年度の三月一日号に掲載が間に合わなかった表彰者も、今回あわせて掲載しています。それについては旧学年の表記になっています。今年度の表彰者は一月末日現在のものです。

平成二十七年 大会・賞・受賞者	第二十七回読書感想画中央コンクール 奨励賞…六年 井崎 英里
第五十回カトリック全国書道展 高原良治 福岡司 教員…六年 白木原 琴奈	第六十九回宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展覧会 (毛筆の部) 特選 六年 三井 奏奈 金賞 六年 白木原 琴奈 特選 五年 市川 涼 金賞 五年 森本 美羽 三年 菅原 来夏 二年 金子 奈央 特選 四年 森 凛々子 特選 四年 井藤 明凛 金賞 一年 田川 菜奈 一年 諸橋 凛
平成二十八年 大会・賞・受賞者	「こども音楽コンクール」 高城塚大賞 優秀賞 弦楽合奏団 東北大会 小学校合奏第一の部 優良演奏 弦楽合奏団 高城塚大賞 小学校合唱の部 優良奨励賞 合唱クラブ 第六十六回 全国小・中学校作文コンクール 佳作 二年 千葉 心音

「作文賞第六十五号」 仙台市審査会 入選 六年 市川 涼 宮城県審査会 入選 五年 小形 愛美 五年 杉山 沙也子 五年 鈴木 穂 五年 杉山 沙也子 五年 杉山 穂	「第二十二回新聞記事コンクール」 (河北新報社) 優秀賞…六年 阿部 由奈	平成二十八年 仙台市小学校読書感想画コンクール 優秀賞 三年 伊藤 舞子 研究部会長賞 五年 鈴木 穂 奨励賞 一年 金子 奈央 二年 金子 桜愛 三年 佐々木 桜花 四年 篠崎 あり	「第二十八年度 仙台市小学校読書感想文コンクール」 仙台市長賞 六年 伊藤 舞子 仙台市長賞 五年 鈴木 穂 仙台市長賞 三年 三岡 茉央 仙台市長賞 二年 酒田 萌々梨 仙台市長賞 一年 鈴木 経南	第四十八回カトリック全国読書大会 相馬信夫司教記念賞 六年 下山 楓 会長賞 六年 森本 美羽 カトリック学校連合会賞 四年 鎌田 美奏 カトリック新聞社賞 五年 森 凛々子	平成二十八年 仙台市美術展 MOA美術館仙台児童作品展 書写の部 MOA美術館奨励賞 二年 浅井 美鈴 絵画の部 河北新報社賞 三年 土居きよら	第五十一回八木山動物公園写生大会 仙台市小学校教育研究会 三年 三岡 茉央 図画工作部会長賞	平成二十八年 明るい選挙啓発作品コンクール 書写の部 佳作 三年 金子 奈央 四年 張 旭明
--	--	---	--	--	--	---	---

第三十八回 J.A.共済小・中学生書道・交通安全ホスターコンクール 交通安全ホスターの部 金賞 三年 三岡 茉央 ポスターの部	第二〇一六回仙台市水道フェア 第二〇一六回児童・生徒絵画コンクール 実行委員会優秀賞…三年 三岡 茉央	平成二十八年 宮城県造形教育作品展 入選 一年 薄井 花音	平成二十八年 仙台市小・中学校図工・美術合同展 入選 一年 佐藤 えりな 四年 村野 美南	第三十二回 全国小学生陸上競技交流大会 宮城県大会 仙台市予選会 共通女子八〇メートル 第一位 六年 柴田 明枝 第二位 六年 佐藤 心咲 第三位 六年 佐藤 紫夕 第四位 六年 鈴木 愛 第五位 六年 松原まひか 第六位 六年 熱海 由美 第七位 六年 鈴木 南 第八位 六年 森本 美羽 第九位 六年 菊地 玲那加 第十位 六年 伊藤 詩織	第三十三回 仙台市民競技選手権大会 第四十四回 仙台市陸上競技選手権大会 四年女子一〇〇m 第三位 四年 佐藤 あのん 五年女子走幅跳 第四位 五年 刈部 詩織 第五位 五年 中里 真理奈 第六位 五年 石川 彩夏 第七位 五年 及川 愛琉 第八位 五年 沼田 京伽 第九位 五年 佐藤 紫夕 第五年四×一〇〇mリレー 第五位 五年 藤巻 陽菜 五年 高橋ひなの 五年 奥田 いる 五年 守 あかり	第二十八回 仙台市クロスカントリー大会 小学生女子五キロ 第三位 (Aチーム) 六年 沼田 京伽 五年 谷津 凛々子 五年 藤巻 陽菜 五年 藤田 晏奈
--	--	---	--	--	--	--

川崎杯第二十七回 泉レイテイスフットサル大会 小学生の部 コカコーラ杯第三十一回 宮城県女子フットサル選手権大会 第十一回 仙台市小学校女子サッカー交歓大会 第四位 (Bチーム) 五年 及川 愛琉 五年 鈴木 香理奈 五年 加藤 結衣 六年 松原まひか	平成二十七年 大会・賞・受賞者 女子団体 第一位 二年 菊地 琳伽 第二位 二年 伊藤 美依 第三位 二年 佐々木 美美 第四位 二年 橋渡 円紀 第五位 二年 伊藤 琴子 第六位 二年 和田 史央	平成二十八年 大会・賞・受賞者 二〇一六ウイナー杯東北中学校選抜フットボール大会 女子団体 第一位 中二 鴛田 花奈 第二位 中二 百々 美琴 第三位 中二 原田 真羽 第四位 中二 和田 真礼 第五位 中二 高橋水詩奈 第六位 中二 伊藤 梨奈 第七位 中二 新妻いのり	第十一回 ALL NIPPON DATE クラシックバレエコンベンション MYAGI シニアA オリエンス賞 中二 根本 真菜美	第六十五回 仙台市中学校総合体育大会 体操競技 女子個人 第一位 中二 江刺家 礼奈 第二位 中二 江刺家 礼奈 第三位 中二 江刺家 礼奈 第四位 中二 江刺家 礼奈 第五位 中二 江刺家 礼奈 第六位 中二 江刺家 礼奈 第七位 中二 江刺家 礼奈 第八位 中二 江刺家 礼奈 第九位 中二 江刺家 礼奈 第十位 中二 江刺家 礼奈 平均台 第一位 中二 江刺家 礼奈 第二位 中二 江刺家 礼奈 第三位 中二 江刺家 礼奈 第四位 中二 江刺家 礼奈 第五位 中二 江刺家 礼奈 個人総合 第一位 中二 江刺家 礼奈 第二位 中二 江刺家 礼奈 第三位 中二 江刺家 礼奈 第四位 中二 江刺家 礼奈 第五位 中二 江刺家 礼奈	第六十五回 仙台市中学校総合体育大会 ソフトテニス競技 泉区女子個人 第三位 中三 菊地 琳伽 第四位 中三 工藤 茉依 第五位 中三 佐々木 美美 第六位 中三 橋渡 円紀 第七位 中三 伊藤 琴子 第八位 中三 和田 史央 第九位 中三 高橋水詩奈 第十位 中三 百々 美琴
--	--	---	--	--	--

第二〇一六ベガタル杯 中学選抜ソフトテニス研修大会 女子団体 第二位 (Aチーム) 第三位 (Aチーム) 第四位 (Aチーム) 第五位 (Aチーム) 第六位 (Aチーム) 第七位 (Aチーム) 第八位 (Aチーム) 第九位 (Aチーム) 第十位 (Aチーム) 女子個人 第一位 中二 伊藤 琴子 第二位 中二 伊藤 琴子 第三位 中二 伊藤 琴子 第四位 中二 伊藤 琴子 第五位 中二 伊藤 琴子 第六位 中二 伊藤 琴子 第七位 中二 伊藤 琴子 第八位 中二 伊藤 琴子 第九位 中二 伊藤 琴子 第十位 中二 伊藤 琴子	第三十五回 仙台市泉区中学校ソフトテニス夏季大会 女子個人 第一位 中二 高橋水詩奈 第二位 中二 高橋水詩奈 第三位 中二 高橋水詩奈 第四位 中二 高橋水詩奈 第五位 中二 高橋水詩奈 第六位 中二 高橋水詩奈 第七位 中二 高橋水詩奈 第八位 中二 高橋水詩奈 第九位 中二 高橋水詩奈 第十位 中二 高橋水詩奈	第四十八回 カトリック全国読書大会 駐日ローマ教皇庁大使賞 中二 和田 史央 カトリック学校連合会賞 中二 直之実乃莉 大司教賞 中二 泉 柚希 司教賞 中二 佐藤 華香 協会賞 中二 佐藤 華香 中二 久保 文音 中二 三井 奏奈	第六十五回 宮城県中総体体操競技 女子個人総合 第一位 中二 江刺家 礼奈 第二位 中二 江刺家 礼奈 第三位 中二 江刺家 礼奈 第四位 中二 江刺家 礼奈 第五位 中二 江刺家 礼奈 第六位 中二 江刺家 礼奈 第七位 中二 江刺家 礼奈 第八位 中二 江刺家 礼奈 第九位 中二 江刺家 礼奈 第十位 中二 江刺家 礼奈 平均台 第一位 中二 江刺家 礼奈 第二位 中二 江刺家 礼奈 第三位 中二 江刺家 礼奈 第四位 中二 江刺家 礼奈 第五位 中二 江刺家 礼奈 第六位 中二 江刺家 礼奈 第七位 中二 江刺家 礼奈 第八位 中二 江刺家 礼奈 第九位 中二 江刺家 礼奈 第十位 中二 江刺家 礼奈	第三十二回 仙台市市民競技選手権大会 女子個人 第一位 中二 江刺家 礼奈 第二位 中二 江刺家 礼奈 第三位 中二 江刺家 礼奈 第四位 中二 江刺家 礼奈 第五位 中二 江刺家 礼奈 第六位 中二 江刺家 礼奈 第七位 中二 江刺家 礼奈 第八位 中二 江刺家 礼奈 第九位 中二 江刺家 礼奈 第十位 中二 江刺家 礼奈	第五十二回 仙台市市民競技選手権大会 第四十四回 仙台市陸上競技選手権大会 女子走幅跳 第一位 中二 阿部 四季野 第二位 中二 阿部 四季野 第三位 中二 阿部 四季野 第四位 中二 阿部 四季野 第五位 中二 阿部 四季野 第六位 中二 阿部 四季野 第七位 中二 阿部 四季野 第八位 中二 阿部 四季野 第九位 中二 阿部 四季野 第十位 中二 阿部 四季野 砲丸投げ 第一位 中二 沼田 晴風 第二位 中二 沼田 晴風 第三位 中二 沼田 晴風 第四位 中二 沼田 晴風 第五位 中二 沼田 晴風 第六位 中二 沼田 晴風 第七位 中二 沼田 晴風 第八位 中二 沼田 晴風 第九位 中二 沼田 晴風 第十位 中二 沼田 晴風	高田宮林全日本中学校英語討論大会 弁論の部 最優秀賞 中三 須田 朱音 奨励賞 中三 藤井 明
--	--	--	--	--	--	--